agriculture

乗用型トラクターの「安全」・「盗難防止」対策

西部農業事務所
普及指導課
佐藤　吉雄

1　乗用型トラクターによる事故防止のポイント

①取扱説明書を読んで機械の特性を把握してから作業しましょう。取扱説明書は保管場所を決め、いつでも読めるようにしておきましょう。

②危険が潜む場所は草刈り等で見通しを良くしておきましょう。

③操作時は、常に周囲の人間の安全を確認し、ホーンなどで合図を行いましょう。

④安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルトの着用を徹底しましょう。

⑤田畑へ出入りの際は速度を落とし、溝や畦の傾斜に対し、直角の向きで走行しましょう。

⑥駐停車するときはブレーキを確実にかける習慣を身につけましょう。

⑦操作ミスを防止するため、田畑から出る前にブレーキを連結しましょう。

図１　ブレーキの連結

⑧点検整備の際や機械の異常を感じたときは、エンジンを止め油圧昇降装置もロックし、巻き込まれ事故を防止しましょう。

2　盗難防止対策

近年、農業機械の盗難が多発しています。ユニック車などでの組織的な窃盗が横行し、盗難にあった機械の多くは海外に流出しています。次の点に注意しましょう

①忙しいからといって田畑に農業機械を放置しないようにしましょう。キーを抜いていても安心できません。

図２　田畑に機械を放置しない

②機械を保管している倉庫や納屋には必ず鍵をかけておきましょう。ハウスでの盗難も増えています。

図３　倉庫には必ず鍵を！

③農業機械はハンドルロックやワイヤーロックで施錠しましょう。

④万一、盗難にあって警察に通報する時は、必ず「機体番号」も合わせて連絡しましょう。なお、機体番号は機械１台ごとに打刻されていますので、保証書等に記入して保管しておきましょう。

図４　万一、盗難にあったら

参考資料：農業機械盗難防止対策協議会「農業機械を盗難から守るために！」